

共同生活援助事業における運営状況説明について

1.令和6年度決算説明について… 別紙資料参照

(収入)

・給付費減額… 利用者の人数減(25名→20名)と支援区分の全体的な低下に伴う減収
世話人配置基準の緩和(4:1→6:1)等の制度改正に伴う減収

・補助金減額… 前年度、物価高騰対策応援金(町、県)の支給(170万円程度)があり増収

(支出)

・人件費増額… 職員体制変更(世話人の人員確保が難しく、生活支援員を補充)に伴う
また、この金額は、施設への繰入額を低率として対応した金額

・事業費減額… 前年度、つばさの建物を購入した事による家賃減額

・事務費増額… ライムやつばさの修繕額増に伴う
人員不足によるシルバー人材派遣委託料の増額

【総括】報酬改定や入居者減員に伴う収入減と人件費等の増額に伴い、500万円強の赤字決算となりました。

令和7年度は、職員体制の見直しをはかり費用の減額を見込んでいます。併せて入居者数の増員や短期入所の利用増を行う事で収入増を目指していますが、現状、厳しい状況です。

2.報酬説明

共同生活援助の収入は主に“基本報酬”と“加算”の2つの収入の合計額が給付額(支給)となります。基本報酬は各利用者さんの“支援区分”により額が上下します。加算は“職員配置”や“夜間体制”などの支援加算や“帰宅や入院”等の施設外での支援加算が算定されます。その他に職員の処遇向上の為の処遇改善加算が報酬額に対し、定率で算定されます。

例) グループホームを30日間(1ヶ月)利用の場合

	区分2利用者さん	区分4利用者さん	差額
基本報酬	56,400(1,880円×30日)	111,600(3,720円×30日)	55,200円
職員配置加算	1,200(40円×30日)	1,200(40円×30日)	0円
夜間支援加算	3,000(100円×30日)	3,000(100円×30日)	0円
人員配置加算	23,100(770円×30日)	24,900(830円×30日)	1,800円
処遇改善加算	10,710(報酬×12.8%)	18,010(報酬×12.8%)	7,300円
合計額	94,410円	158,710円	64,300円

【総括】区分の違いで、基本的な給付額に上記表程度の差額が出てきます。この他に必要な体制(職員配置)や書類(支援計画未実施)がとれていない等の“減算”もあります。

3.直近5年の収支額の推移（10分）

	収 入	支 出	収支差額	利用者数 (3月末)	備 考
令和6年度	38,367,385	43,669,554	-5,302,169	20人	
令和5年度	46,830,907	41,880,923	4,949,984	25人	
令和4年度	49,349,105	44,858,624	4,490,481	27人	1,200万定期取崩 GHつばさ購入費用
令和3年度	48,121,147	42,368,160	5,752,987	27人	300万定期積立
令和2年度	48,343,789	42,542,828	5,800,961	28人	300万定期積立

【総括】前頁にも記載しているが、令和6年度の大きな収入減額の要因は2点。

一つは、報酬改定による“世話人配置の緩和”がある。5年度までは、利用者4：世話人1の体制（5：1、6：1もあった）であったが、6年度から6：1に統一され、全体的な報酬単価の減額となった。人員配置という“職員の加配”加算が設けられ、当施設は報酬額の高い配置をしているが、金額は減額となった。

二つ目に利用者さんの入居者数が高齢施設への移行を含め、減員となっており、職員体制とのバランスがとれていない状況があった。また、昨年度に関しては、利用者さんの長期入院等もあり、利用減も要因であった。

令和6年度は上記理由により収入減も有り、人件費率が95%となった。今年度は職員体制の見直しをはかると共に、“自立”を目標としたGHを設置し、職員配置にもメリハリをつけた編成とし、また、利用者増を行う事で収支バランスの正常化を図る。

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）
共同生活援助事業所みんなの作業所拠点区分事業活動計算書

（自）令和 6年 4月 1日（至）令和 7年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考	
サ ー ビ ス 部	収	障害福祉サービス等事業収益	38,347,712	46,818,428	-8,470,716	利用者区分2(7→10名、区分3(12→9名、区分4(3→2名加算) 夜間支援体制Ⅱ(4→3名)Ⅲ(19→18名) 職員配置 帰宅時支援 入院時支援体制 処遇改善 利用者家賃負担 家賃補助金@10,000円/月 隠岐の島町処遇改善助成金560,000 処遇改善特別補助135,406
	益	自立支援給付費収益	34,092,190	40,776,920	-6,684,730	
		訓練等給付費収益	34,092,190	40,776,920	-6,684,730	
		利用者負担金収益	738,916	769,308	-30,392	
		補足給付費収益	2,821,200	3,051,200	-230,000	
		特定障害者特別給付費収益	2,821,200	3,051,200	-230,000	
		その他の事業収益	695,406	2,221,000	-1,525,594	
		補助金事業収益(公費)	695,406	2,221,000	-1,525,594	
		サービス活動収益計(1)	38,347,712	46,818,428	-8,470,716	
	動 作 部	費	人件費	36,642,925	35,501,053	
		職員給料	11,848,640	11,205,360	643,280	
		職員賞与	2,243,209	2,222,374	20,835	
		賞与引当金繰入	941,036	1,031,509	-90,473	
		非常勤職員給与	17,774,573	18,281,961	-507,388	
		退職給付費用	728,000	578,500	149,500	
		法定福利費	3,107,467	2,181,349	926,118	
		事業費	3,706,980	4,278,189	-571,209	
		消耗器具備品費	204,981	228,283	-23,302	
		保険料	209,567	223,020	-13,453	
		賃借料	3,158,649	3,521,394	-362,745	
		車両費	98,699	99,010	-311	
		雑費	35,084	206,482	-171,398	
		事務費	3,016,998	1,781,326	1,235,672	
		福利厚生費	115,690	107,284	8,406	
		研修研究費	69,270	0	69,270	
		修繕費	989,749	333,760	655,989	
		業務委託費	1,629,679	1,098,956	530,723	
		手数料	16,610	20,230	-3,620	
		土地・建物賃借料	174,000	198,000	-24,000	
	諸会費	22,000	23,096	-1,096		
	減価償却費	223,581	190,347	33,234		
	減価償却費	223,581	190,347	33,234		
	サービス活動費用計(2)	43,590,484	41,750,915	1,839,569		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-5,242,772	5,067,513	-10,310,285		
サ ー ビ ス 部	収	受取利息配当金収益	19,673	389	19,284	預金利息
	益	受取利息配当金収益	19,673	389	19,284	
		その他のサービス活動外収益	0	12,090	-12,090	
		雑収益	0	12,090	-12,090	
		サービス活動外収益計(4)	19,673	12,479	7,194	
活 動 外 増 減 の 部	費					
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0		
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	19,673	12,479	7,194		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	-5,223,099	5,079,992	-10,303,091		
特 別 増 減 の 部	収	特別収益計(8)	0	0	0	本部会計繰入
	費用	拠点区分間繰入金費用	79,070	130,008	-50,938	
		拠点区分間繰入金費用	79,070	130,008	-50,938	
		特別費用計(9)	79,070	130,008	-50,938	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	-79,070	-130,008	50,938	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-5,302,169	4,949,984	-10,252,153		
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	繰越	前期繰越活動増減差額(12)	52,244,981	47,294,997	4,949,984	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	46,942,812	52,244,981	-5,302,169	
		基本金取崩額(14)	0	0	0	
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	46,942,812	52,244,981	-5,302,169	

令和7年度第1回 地域連携推進会議 議事録（会議報告）

事業所名	共同生活援助事業所 みんなの作業所		
作成日	令和7年 8月 1日	担当者	中西 正美

概 要	
日 時	令和7年7月19日（土）9：00～12：00
場 所	社会福祉法人・博愛 みんなの作業所
参加者	・入居者2名 ・入居者ご家族1名 ・地域の関係者1名 ・福祉の見識者1名
	・経営の見識者1名 ・市町村職員1名
	・施設長 ・施設長補佐 ・サビ管 計10名

議 事	
議 題	○令和6年度共同生活援助事業所・みんなの作業所の決算報告について
	○報酬説明
	○直近5年間の収支額の推移について
報告内容	別紙資料に基づき、施設長補佐より報告を行う。

報告事項で出た意見・助言・要望・課題について	
内容	【入居者のご家族】
	空き部屋を埋めると収入があがるのなら、利用者や保護者への周知を図ることが必要だと思う。
	わたしも最初は、GH入居に抵抗があったが、今は入居してよかったと思っている。
	年齢を重ねるごとに新しいことに適応していくのが難しくなると思う。入居者の保護者として機会があれば、いくらでも話します。
	【施設職員】
	GHを増やすときは、アンケート等をもってニーズの把握をしていたが、最近はしていない。
	改めて取り組んでもいいと思った。
利用者やご家族の希望があり、いきなり入居となるとハードルが高いのかもしれないので、体験等の機会を進め、GHの生活を知ってもらうことから働きかけをしてみようと思います。	

グループホーム訪問（意見交換）

GH 訪問で出た意見・助言・要望・課題について	
内容	・ 共同場所等はきれいだった。個人の部屋も趣味のものが飾ってあり、本人の好きな空間になっていた。
	・ 1ヶ所だけ台所にエアコンがなかったので、暑いのに大変だと思った。
	・ 5月に自立ホームができ、自分たちで献立から買い物等やっておられ、仕事にも行っていると聞いて、頑張っておられると感心した。
	・ 「今夜は飲みに行く」「地域のお祭りに行く」等地域の中で自分たちの生活を楽しんでいるように感じた。
	・ GHのイメージは「地域の中で、地域住民としての暮らしをする」ことだと思っているので、そのようになっていると感じた。
	・ それぞれ個性のある部屋だった。間違いなくわたしの部屋よりきれいだった。
	・ 入居者同士がとても仲良く暮らしていた。
	・ 以前僕が居たころより、メンバーが変わり仲良くなっている感じがした。
	・ 世話人さんの不満はあって当然だと思っている。自分も世話人をやっていたので、理解できる。わたしでよければいくらでも話を聞いてあげたい。
	・ 世話人の大変さはとてもよくわかるが、おもしろさがあるので、頑張してほしい。
	・ 自治会としてもどのようにGHとの関りを作っていくのか課題
	・ 地域との関りを作っていくのか支援者の力量
	・ 地域生活をするなかで、困ったことがあったときの対処方法を身につけてほしい。

上記について事業所内で話し合った結果と今後の取組みについて			
振り返りを行った日	令和7年8月18日	参加職員	施設長、GH支援員、GH事務員
内容	1. 空き部屋を埋める		
	2. 体験の場としての活用と周知 体験や短期入所サービス利用についてのパンフレットを作り周知をする。 9月に予定されている保護者研修会で事業の説明があるが、そこでの周知を行う。 構成員の入居者家族からの経験談を伝えいただく機会を設ける。		
	3. 地域生活をするなかで、困ったことがあったときの対処方法について 自分で携帯等を利用できる方には、緊急時の連絡先を登録している。 携帯電話等使用が難しい方には、緊急時カードの作成をしてはどうか。 今後、入居者、世話人の意見を取り入れ、次回の地域連携推進会議に報告する。		
	4. GHの地域での役割について		
	5. 地域生活支援にあたり、支援者の役割について GHは「地域の中で、入居者が地域住民としての暮らしをする」こと。 地域の清掃や自治会活動、イベント等に参加し、地域とのつながりを大切にし、交流を通して相互理解を深めることで、地域全体で支え合う仕組み作りができる。 そのサポートをするのが支援者の大切な業務。まず支援者が地域の人とのつながりをしっかり作ることが重要。		